

# 日光植物図鑑

## その⑧ ヒサカキ

【和名】 ヒサカキ  
【別名】 —  
【学名】 *Eurya japonica* Thunb. var. *japonica*  
【科名】 ツバキ科 Theaceae

1982年11月16日撮影



ヒサカキは樹高3～5mの常緑樹です。樹皮は黒褐色で、よく枝分かれした枝に革質で厚い葉を茂らせます。葉の表面は濃緑色で光沢があります。同様に光沢のある葉を持つアオキ、ヤブツバキ、シキミ、テイカカズラ、シラカシなどとともに照葉樹といわれます。

東アジアからインドにかけて広く分布し、日本では本州、四国、九州、南西諸島に生育。市内では、南部の丘陵地や低山・山地のスギ林やヒノキ林内によく見られます。

花期は3～4月。臭気のある小さな淡黄色の花を束状につけます。果実は直径4～5mmの球形で、11月から12月にかけて黒褐色に熟します。この果実は鳥に好んで食べられ、ふんに混じって種子が蒔かれます。

和名の由来は、神事に用いられるサカキ(榊)に似ていて小型なことから姫サカキという説、サカキに似てサカキに非ず(あら)ということから非サカキという説があります。ヒサカキの枝葉はサカキの代用品として、神事に用いられることもあります。

### 一喜一憂

9月末から10月始めにかけて、スペインで開催されたホッケーの女子ワールドカップ。12か国が出場し、日本は過去最高の5位に入りました。地元チームのグラクソ・スミスクラインからは、小森皆実選手と駒澤李佳選手が代表に選ばれ、試合に出場しました。

特に、日光市出身の小森選手は2年前のアテネ五輪でも代表として活躍。旧今市市の広報紙でも、その健闘ぶりを紹介しました。小森選手はアテネからの帰国後、記者会見で「北京五輪出場を目指して、新たな気持ちで頑張ります」と抱負を語ってくれました。

北京五輪の開催まであと2年です。私にとってはまだまだ先のことですが、日本代表チームの北京五輪への戦いは既に始まっています。12月には、五輪出場をかけたアジア大会が控えています。

2008年、北京五輪のフィールドで戦う日本代表チームの姿をぜひ見たいものです。(大)

## 12月の休日当番医

3日(日)	☎獨協医大日光医療センター ☎鈴木歯科クリニック	☎76-1515 ☎26-5566
10日(日)	☎川上病院 ☎小林歯科医院	☎22-2311 ☎22-0303
17日(日)	☎森病院 ☎入江デンタルクリニック	☎22-1024 ☎26-0090
23日(土) 天皇誕生日	☎今市病院 ☎柴田歯科クリニック	☎22-2200 ☎21-0664
24日(日)	☎今市病院 ☎湯澤歯科医院	☎22-2200 ☎21-0113
29日(金)	☎今市病院 ☎—	☎22-2200 —
30日(土)	☎獨協医大日光医療センター ☎田野井歯科清原診療所	☎76-1515 ☎22-2815
31日(日)	☎獨協医大日光医療センター ☎鈴木歯科医院	☎76-1515 ☎21-0225

※☎は医科、☎は歯科の休日当番医です。  
※日曜日や祝日、振替休日に、今市保健福祉センター内で休日急患こども診療所(☎30-7299)を開設しています。